

第13回 天田財団助成研究成果発表会の開催案内 「せん断のメカニズムと板材・棒材の最新加工技術」

＜日本塑性加工学会の春季講演会に併設して開催＞

趣 旨：天田財団は、金属等の塑性を利用した加工や高密度エネルギー下での諸特性を利用した加工に関する研究助成を通じて、学術の振興と新しい科学技術の創出を図り、産業と経済の健全な発展に寄与します。また、助成研究成果の普及啓発も事業の一環と位置づけ、一般社団法人日本塑性加工学会のご協力により、本年も「天田財団助成研究成果発表会」を開催させていただくことになりました。今回は「せん断のメカニズムと板材・棒材の最新加工技術」を主テーマに、発表会と産業界の方も交えたパネルディスカッションを行います。

日 時：平成27年5月29日（金） 13:00～17:50
会 場：慶應義塾大学 矢上キャンパス 11棟2階41室
(〒223-8522 神奈川県横浜市港北区日吉3-14-1)
交 通：日吉駅 徒歩15分
主 催：公益財団法人 天田財団
後 援：一般社団法人日本塑性加工学会
協 賛：一般社団法人日本鍛圧機械工業会
一般社団法人日本金属プレス工業協会

講演内容：「せん断のメカニズムと板材・棒材の最新加工技術」を主テーマに5件発表
パネルディスカッション「せん断加工技術の最前線」
(詳細は当財団のホームページに掲載)

参加費：無料（発表会・懇親会共無料ですが、事前の申し込みが必要です）

申し込み：ホームページ < <http://www.amada-f.or.jp> >

問合せ：天田財団事務局 〒259-1116 神奈川県伊勢原市石田350番地

電 話：0463-96-3580 FAX: 0463-96-3579

編集後記

最近、テレビをほとんど見なくなったが、結婚相手としてのこれからの理想の男性像は、という論点の面白い番組があった。結論は、1に直観に優れた人。2に前例がないことができる人。3にヤンキーかオタクの素質がある人、ということだった。情報が氾濫する混迷の時代、これに当てはまる人が世界を引っ張っていく、ということだろう。独身女性の反応を知りたいものだ。

「歴史は未来を知る科学である」という認識に立てば、上記の意見は真っ当だろう。歴史は、1、2、3の者たちが確かに創ってきた。別に目新しい見解ではない。強いて言えば、独身女性にこれを説いたことだろうか。これを考えると、財団がお世話になっている素晴らしい先生方は、全てこの素質がある。先生の活動を裏から支える女性と研究開発助成があれば鬼に金棒だろうか。

冗談はさて置いて、「独発・インダストリー4.0」が大きな話題となっている。大学側で進めた基礎研究は、企業での製品開発に直接繋がらないという不満がある。これに対し、日本の企業は自前で研究所を立ち上げ、基礎研究での発見の用途を見極めながら製品化に繋げる努力をしてきた。その活力こそが、この日本を支えてきたはずだ。しかし、博士を抱える企業でも自ずと限界がある。

この研究所の機能を国家レベルに位置付けたのが、独の戦略だろう。研究所へ投入される政府予算は、大学や基礎研究機関で得られた発見の応用研究に充てられる。一方、企業側はその研究所へ委託研究を依頼し、資金を供給する見返りとして最先端実用化技術を手に入れ、製品化する。まさに研究所が心臓のような循環機能を果たしている。頭脳は、大学・基礎研究機関。その総括としての肉体は、各企業だろうか。その強靱な身体で、世界を闊歩する計画なのだ。

しかし、ここで冷静に考えれば、全ての基は1、2、3の資質を持つ大学・基礎研究機関の先生方である。ここを大切にせずして国の発展はあり得ない。

FORM TECH REVIEW

2014 Vol.24 No.1 通巻25号

発行日 2015年3月10日発行

発行人 常盤 徹

発行所 公益財団法人天田財団

〒259-1116

神奈川県伊勢原市石田350番地

Tel (0463) 96-3580

URL <http://www.amada-f.or.jp>

印刷所 株式会社アイワ